

自然・環境

福山市の地形と自然観光資源

1 福山市の地形

(1) 地形の特徴

福山市の地形は、北部に標高200m～500m程度のなだらかな高原や丘陵が連なっています。中部から南部にかけては、芦田川が運んだ土が河口に堆積した三角州が広がり、都市部を形成しています。

〔市役所から見た風景〕

北側



南側



(2) 主な山と川

北部の丘陵地帯に標高500mを超える山が、神村町や芦田町、グリーンラインのある沼隈半島には、400m級の山があります。

■標高ベスト10

(単位：m)

	名称	標高	所在地
1	京ノ上山	611.2	新市町
2	蛇円山	545.8	駅家町
3	笠木山	512.5	加茂町
4	馬乗山	500.3	山野町
5	熊ヶ峰	437.9	熊野町, 水呑町

	名称	標高	所在地
6	彦山	430.1	熊野町, 瀬戸町
7	大谷山	401.3	神村町, 芦田町
8	高増山	399.2	津之郷町, 駅家町
9	天神山	387.5	新市町
10	夏霧山	349.6	沼隈町, 熊野町

*標高：国土地理院の基準点

福山の主な河川は、
芦田川水系など5つの
水系の川が集まってい
ます。

芦田川水系

芦田川, 有地川,
神谷川, 服部川,
加茂川, 高屋川,
箱田川, 竹田川,
河手川, 瀬戸川

高梁川水系 小田川

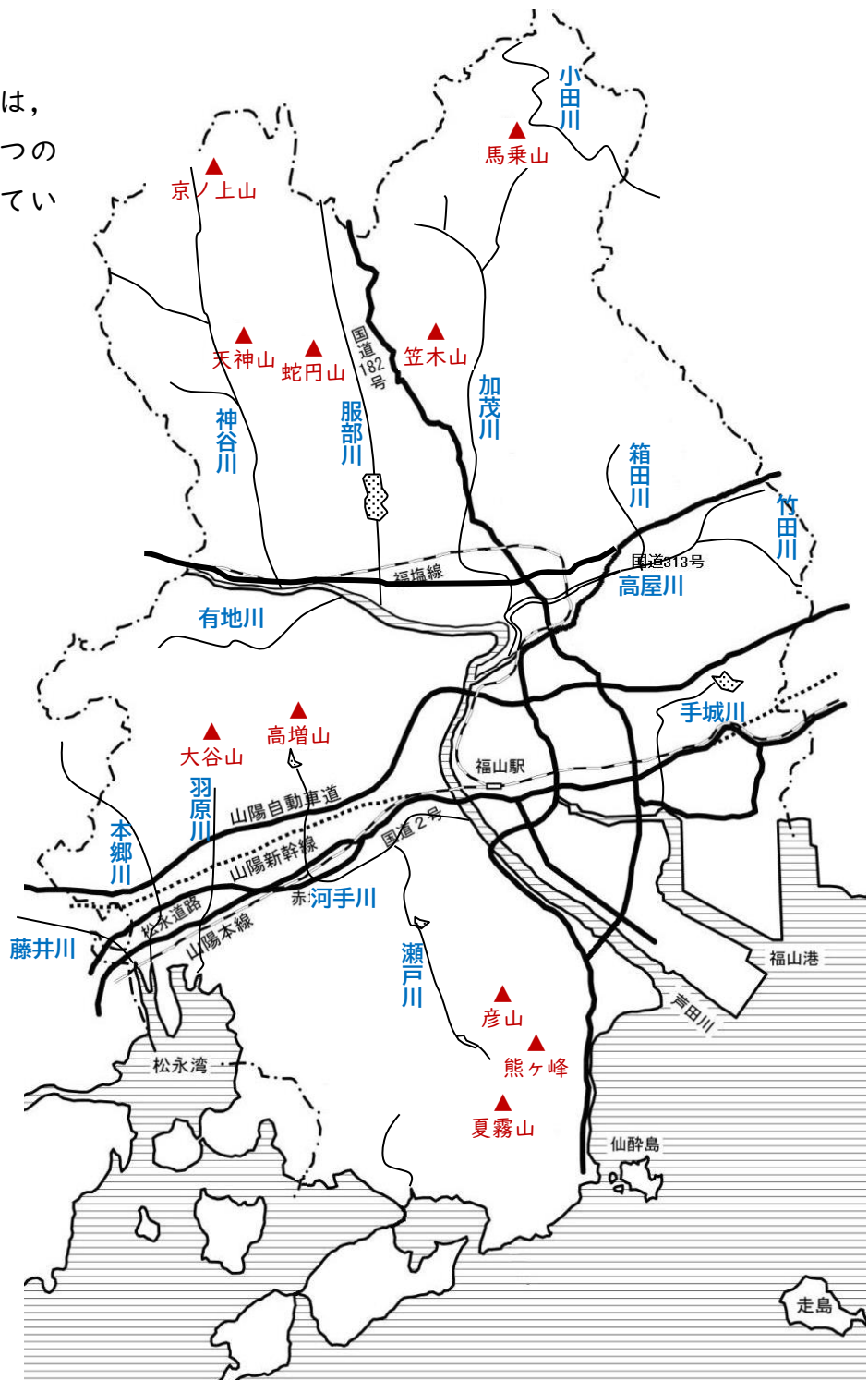
藤井川水系 藤井川

本郷川水系 本郷川

羽原川水系 羽原川

[福山を流れる川]

多くの山や川は、
わたしたちの生活に
どんな影響^{えいきょう}を与えて
いるのかな。



2 福山市の自然観光資源

(1) 県指定の天然記念物（地質）

名 称	所 在
矢川のクリッペ	山野町
上原谷石灰岩巨大礫	山野町
仙酔島の海食洞	鞆町

名 称	所 在
仙酔層と岩脈	鞆町
福山衝上断層	木之庄を起点に 笠岡まで

《 山間部の天然記念物 》

かみはらたに きよだいれき 上原谷石灰岩巨大礫（山野町）

高さ30m、幅33m、奥行35m以上の巨大な岩のかたまりです。かたまりの下には大きな洞穴があり、天井から鍾乳石が垂れ、石筍も成長しており、鍾乳洞のように見えるところもあります。



今から約1億5000万年前頃に、大きな地殻変動があり、上方の石灰岩体の一部が割れて、転落してできた巨大な岩のかたまりと考えられています。

《 沿岸部の天然記念物 》 仙酔島の海食洞と仙酔層の岩脈（鞆町）



海岸線には、仙人が酔うほど美しいと言われる五色の岩の層が確認できるね。



仙酔島や周辺の島には、波の浸食作用を受けてできた海食洞窟や洞門が数多く見られます。また、複数種の岩石が堆積した地形になっているため、浸食された岩肌には、様々な層が見られます。それらは、独特の海岸美を形成し、「鞆公園」として国の名勝に指定されています。

(2) 自然の景観



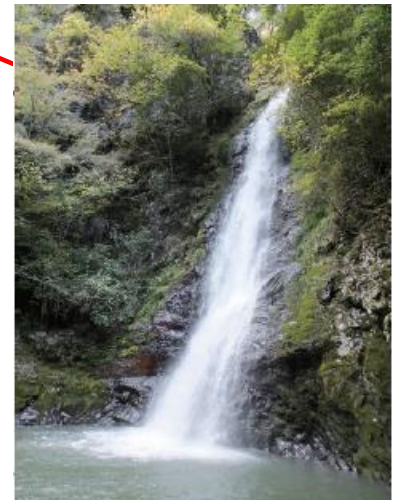
同じ福山市なのに、地域によって、こんなに様々な景色が見られるんだね。



えんめいきょう
〔猿鳴峡(山野町)〕



〔藤尾の滝(新市町)〕



りゅうず
〔龍頭の滝(山野町)〕



〔芦田川・佐賀田橋付近(新市町)〕



〔鞆の浦(鞆町)〕



〔横山海岸(内海町)〕



とびす
〔鳶が巣(内海町)〕